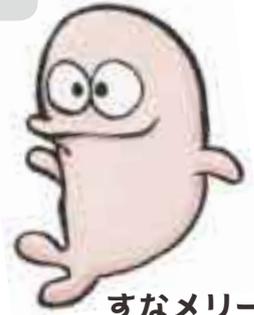


竹谷町のメリーさんの協力
により生まれた
都市マスのキャラクター



みかん仙人



すなメリー

蒲郡市では、まちづくりの指針となる「蒲郡市都市計画マスタープラン(都市マス)」の見直しを行っています。

都市マスとは、都市の将来像を定め、住宅地や工業用地の配置、道路や公園などの施設の整備、農地や自然環境などの保全について方針を定めるものです。

見直しにあたり、まちの問題やまちづくりの方針について、市民の意識や意向を把握するために、昨年の9月に「市民意識調査」を実施しました。

今号では、市民意識調査の結果の一部をご紹介します。

“蒲郡”のまちづくり意識調査

～わたしたちが暮らす「蒲郡」、その未来への想い～



住んでいる「地区」の土地利用

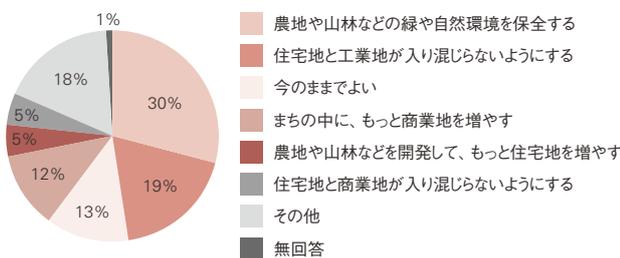
都市マスは、「全体構想」と「地域別構想」からなります。とりわけ、地域別構想は、全体構想での整備方針を受け、それぞれの地域の特性や課題に応じ、都市施設や交通の確保、緑地の保全などの方針を明らかにすることとなっています。

中でも、すべてのまちづくりの基本となる「土地利用」について、優先的に取り組む事柄をお聞きしました。

調査対象と回答結果

対象		回答		
市民	2,000人	1,018人	50.9%	
事業所	100社	63社	63.0%	
農業者	300戸	120戸	40.0%	

問 お住まいの地区の土地利用について、行政が優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？



「農地や山林などの緑や自然環境を保全する(30%)」と答えた人が最も多く、「住宅地と工業地が入り混じらないようにする(19%)」、「今のままでよい(13%)」が上位となっています。

一方で、「開発して住宅地、工業地、商業地を増やす(12%)」、「農地や山林などを開発して、もっと住宅地を増やす(5%)」と、開発に関する意見は少なめでした。

これらの結果から、市民の多くは緑や自然環境を残し、用途地域の目的に合った土地利用を望んでいることがうかがえます。